

社会福祉法人 どんぐりの家
平成 30 年度 事業報告

(1) 通所介護事業所

「おこしやす」からの移動を含め、事業対象者及び要支援者のご利用が増えた中、「出来ることは、して頂く。」よう、手を出しすぎない介護に努めました。

毎月のミーティングにおいて、「接遇」等をテーマに取り上げ、「人」を大切にする介護が実践出来る様に研修を重ねました。

(2) 認知症対応型通所介護事業所 どんぐりの家 絆

ご利用者が、心穏やかに過ごして頂ける雰囲気大切に、職員がバタバタせず、ゆっくりとした時間が流れるように努めました。

ご家族や担当ケアマネ等との情報交換を密にし、それを各職員に周知する事で、在宅での生活に繋げる事が出来る介護を心掛けました。

(3) 訪問介護事業所

ご利用者の気持ちを大切に、寄り添いのサービスが出来るように努めました。

ヘルパーの訪問を心待ちして頂ける様に、サービス内容の共有をして、関係機関との連携にも努め、どんぐりの家らしいサービスが出来るようにスタッフ全員で心掛けました。

ご利用者、ご家族の突発的な要望にも対応する事が出来ました。

(4) 居宅介護支援事業所

年間を通じて定期的に新規利用者の相談を頂くことが出来ました。ただ、相談を受けた方が、予定通り退院出来なかったり、要支援認定を受けられたりと、当事業所で給付管理出来ないケースも多く、相談件数と実際の新規実績件数に差が出ました。

制度改正が実施され、特に 8 月より開始となった利用料 3 割負担については、ご利用者やご家族から話題にあがるが多かったです。

他事業所との兼務ではありますが、介護支援専門員を 1 名増員することが出来、5 名体制となりました。

綾部市の生活サポート会議については、市の年間計画の通り 8 回出席しました。事例提供は、3 名の介護支援専門員が交代で行い、事務局である市のスタッフや、市内他事業所のスタッフと意見交換を実施しました。

(5) おこしやす

現在、月～金曜日の週 5 日開所で事業展開中です。

年間を通じ、午前中に「綾部市すこやかシニア教室」として体操、口腔、栄養をテーマに取り組み、昼食を挟んで、午後はレクリエーション、カラオケ、書道等行い、9 時～15 時の開所時間で活動しました。

「ノルディックウォーク」は継続しており、ご利用者の健康維持に貢献しています。

「自らやる」、「自ら考える」を意識して頂き、頭や体を動かして頂く新しい取り組みを職員一同で模索し、実行出来ました。

建物の一般利用については、定期として毎月第 3 日曜日の午後に「里福祉をすすめる会様の“わいわい集会”」や、不定期として各地域グループの会合等の利用がありました。

(6) 配食サービス

おひとり暮らし、高齢者世帯で、お身体の具合等が原因で調理負担や不安を感じられた方、又家族は居るが昼間は仕事等で日中独居の方を対象に、年間 4,017 食配達しました。

広報誌に記事を出したあと、新規希望連絡を頂いたケースもありました。他事業所の介護支援専門員から新規紹介を頂くケースも多かったです。

配達員を増員することは出来ましたが、どんぐりの家から遠方地域の希望については、今のところお断りしています。